

平成二十三年三月七日提出
質問第一二七号

沖繩はじめ我が国の文化等に係る米国務省高官の発言に対する政府の認識及び対応等に関する
質問主意書

提出者 浅野 貴博

沖縄はじめ我が国の文化等に係る米國務省高官の発言に対する政府の認識及び対応等に関する

質問主意書

報道によると、在沖縄米国総領事を務め、現在は米國務省日本部長の任に就いているケヴィン・メア氏が、昨年末、米国の大学生向けに國務省内で行った講義の中で、和を重視する我が国の文化について、「日本の和の文化とは常に合意を追い求める」とした上で、「日本人は合意文化をゆすりの手段に使う。合意を追い求めるふりをしながら、できるだけ多くの金を得ようとする」旨の発言をしたとのことである。また沖縄についても、我が国政府に対する「ごまかしとゆすりの名人」であるとし、「怠惰でゴーヤーも栽培できない」と述べたとのことである。更に普天間飛行場については「福岡空港や伊丹空港と同じ」と、特別に危険ではないとし、我が国政府は仲井眞弘多沖縄県知事に対して「お金がほしいならサインしろ」と言うべきとの旨、発言していたとのことである。右のメア日本部長の発言（以下、「メア発言」とする。）を踏まえ、以下質問する。

- 一 「メア発言」の詳細な内容を、政府は把握しているか。
- 二 メア日本部長が、「メア発言」にある内容の発言を行ったというのは事実か。

三 政府、特に在米国日本国大使館は、いつ「メア発言」がなされたことを知ったか。

四 我が国の文化に対する政府の認識如何。我が国は和を重んじ、常に合意を追い求め、そしてそれをゆすりの手段に使う文化を有しているか。

五 沖縄に対する政府の認識如何。沖縄は怠惰でゴーヤーの栽培もできないか。

六 普天間飛行場に対する政府の認識如何。同飛行場の危険性は、福岡空港や伊丹空港と同程度か。

七 仲井眞知事への対応についての政府の認識如何。政府として、仲井眞知事に対し、「メア発言」にあるように、金と引き換えに、普天間飛行場移設に関する昨年五月の日米合意への同意を求める考えはあるか。

八 差別の定義如何。

九 「メア発言」は、我が国の文化及び沖縄県民に対する著しく不当な差別であると考えますが、政府の認識如何。

十 政府、特に在米国日本国大使館は、「メア発言」の事実関係につき、米国側に照会を行っているか。行っているのなら、いつ、誰が、どこで、誰に対してどのような手段による照会を行っているのか明らか

にされたい。

十一 政府、特に在米国日本国大使館は、「メア発言」につき、メア日本部長はじめ米国側に抗議をしているか。しているのなら、いつ、誰が、どこで、誰に対してどのような手段でどのような内容の抗議をしているのか明らかにされたい。

右質問する。